



市長に車いすを寄贈する阿形取締役

安心して施設を利用できるように

■ライフサービス株式会社が車いすを寄贈

ライフサービス株式会社（豊岡区）は、地域社会への貢献活動の一環として、車いす4台を市内の火葬場に寄贈しました。

5月11日には、寄贈式が市役所棟原庁舎で行われました。

阿形秀樹取締役は「お年寄りや足など悪い方に不自由がないよう有効に活用してほしい」と話し、車いすを市長に手渡しました。

寄贈された車いすは、南遠地区聖苑と謝恩閣にそれぞれ2台ずつ配置しています。

私たちが摘んだ新茶をどうぞ

■「学園茶」の販売と呈茶サービス／牧之原中学校

5月23日、牧之原中学校の2年生と3年生27人は、東名高速道路下り線「牧之原サービスエリア」で、新茶の販売と呈茶サービスを行いました。

販売した新茶は、4月30日に学校茶園で手摘みした後、JAハイナンの協力で製茶され、生徒たちが50グラムずつ袋詰めしたものです。

当日は、お茶摘み姿の生徒が観光客に笑顔でPR。用意した250袋はあっという間に完売しました。生徒たちは、「一生懸命作ったお茶を、美味しいと買ってもらえてうれしい」と話しました。



茶娘姿などで新茶を販売する生徒たち

飛行機を見ながら歩く

■富士山静岡空港ウォーク2015

「富士山静岡空港ウォーク2015」が5月10日、富士山静岡空港とその周辺で開催されました。

「マップまきのはら」などが組織する実行委員会が主催したこのイベントには、約650人が参加。今回は、特別に開放された空港管理道「復元の森」を歩く5キロと15キロのコースで、親睦を深めながらゴールを目指しました。

参加者は「飛行機が離陸するところを、タイミング良く間近で見れて、とても良い経験ができた」と話しました。



特別に開放された空港管理道を歩く参加者たち



おいしいお米ができるといいな

■田植え／地頭方小学校

地域のボランティア団体「末広会」が指導者となる「田んぼの学校」が5月18日に行われ、地頭方小学校5年生29人が田植えに挑戦しました。

お米づくりの体験を通して、子どもたちに農業の厳しさや楽しさ、食べ物のありがたさを学んでもらおうと始めた活動は今年で13年目。児童たちは、メンバーの指導を受けながら、泥んこになって苗を植えました。

子どもたちは「大変だったけど、楽しかった。収穫が楽しみ」と満面の笑顔を浮かべていました。

広報担当がどこにでも取材に行きます。

あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。

秘書広報課 ☎052 230-0052 ✉seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp



輝かしい功績をたたえる

■平成27年春の叙勲「旭日双光章」受章

平成27年春の叙勲の受章者が発表され、本市からは、川島啓司さん（71歳、須々木区）が旭日双光章を受章しました。

川島さんは、平成7年4月に相良町議会議員に初当選して以来、3期10年余りにわたり務め、議長や経済・環境常任委員会委員長などを歴任しました。

また、平成17年10月に誕生した牧之原市の市議会議員にも当選し、2期8年間にわたり務め、議長や総務委員会委員長などを歴任。新市の発展や地方自治の振興に尽力しました。

川島さんは「町、市議会議員として、住みやすいまちづくりを目指してきました。受章は、長きにわたりご支援いただきました市民の皆さんのおかげです」と述べました。



旭日双光章を受章した川島さん

子どもの健やかな成長を願う

■相良夙初節句神事

子どもの初節句を祝う「相良夙初節句神事」が5月5日、市史料館で行われました。

この江戸時代から続く伝統行事には、市内外から7組の家族が参加し、子どもの名前と家紋が大きく描かれた縦1.3メートル、横1.17メートルの立派な相良夙を見上げ、子どもの健やかな成長を願いました。

1歳の風塙くんと神事に参加した飯塙直規さん（勝間田区）は、「思いやりのある優しい子に育ってほしい」とわが子への思いを話してくれました。



家族みんなで初節句を祝う



みんなで楽しく作る砂の芸術品

■サンドアート（砂の造形大会）

市観光協会は、自然と触れ合しながら作る喜びを感じてもらおうと、サンドアート（砂の造形大会）を5月3日、静波海水浴場で開催しました。

今回初めて開催した大会には、相良高等学校の生徒や家族連れなど県内外から9チーム約40人が参加。シャベルやバケツなどを使い砂を盛り上げ、クワガタやカメなどを造形していました。

神奈川県茅ヶ崎市の伊藤白夏汰さん（小学2年生）は、「初めての体験で楽しかった。いいのができた」と体験を楽しみました。